

平成22年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 405

所管部局	農林商工部	所管課	農政課	担当者名	寺田 利裕
事業名	畜産支援事業			事業分類	ソフト事業
細事業名	畜産支援事業			政策体系	233
会計	一般会計	科目	6.農林 - 1.農業 - 4.畜産		

1. 事業の概要

市単独で家畜伝染病予防に対し支援する。また市内畜産業者の地域間格差を是正する支援を行う。

2. 事業の目的と必要性

①施策で目指す目標との関連付け

南丹ブランド生産者等への支援として、経営安定のための支援に加え、環境改善や安全・安心の畜産物の生産を推進する。

②事業を実施する必要性

安心・安全な農業の推進のため、家畜法定伝染病等の発生を防ぐ必要がある。同じ市内でありながら家畜往診や集乳運賃に地域差があるが、市内全地域の均衡な畜産業の発展のために必要である。

3. 事業費の推移

	単位	平18決算	平19決算	平20決算	平21決算	平22予算	平23計画	平24計画
決算額または計画額	千円	2,455	3,054	2,766	3,556	2,400	3,060	3,060
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等	千円	0	0	0	0	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円	0	0	0	0	0	0
	国・府支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	2,455	3,054	2,766	3,556	2,400	3,060
職員等の従事人員	人/年	—	—	0.10	0.05			
人件費	千円	—	—	499	254			
事業費総額	千円	—	—	3,265	3,810			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。
 ※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

4. 主な事業費の内訳

家畜法定伝染病予防対策助成事業補助金	1,608,338円（補助金）
集乳運賃助成事業補助金	1,786,238円（補助金）
遠距離家畜診療助成事業補助金	161,675円（補助金）

5. 事業結果の概要

家畜法定伝染病予防対策助成事業補助金（受益農家24戸）
集乳運賃助成事業補助金（受益農家8戸）
遠距離家畜診療助成事業補助金（受益農家6戸）

6. 活動の詳細

活 動 内 容	活動日又は時期	活 動 結 果 等
(1) 補助金交付申請		
補助事業対象団体より交付申請	2月	家畜法定伝染病予防対策助成事業1団体(受益農家24戸)、集乳運賃助成事業1団体(受益農家8戸)、遠距離家畜診療助成事業1団体(受益農家6戸)
(2) 補助金交付決定		
補助事業対象団体へ交付決定	2月	家畜法定伝染病予防対策助成事業1団体(受益農家24戸)、集乳運賃助成事業1団体(受益農家8戸)、遠距離家畜診療助成事業1団体(受益農家6戸)
(3) 事業完了検査		
事業実績報告に基づき、事業完了検査を実施	3月	家畜法定伝染病予防対策助成事業1団体(受益農家24戸)、集乳運賃助成事業1団体(受益農家8戸)、遠距離家畜診療助成事業1団体(受益農家6戸)
(4) 交付金の額の確定および支出		
検査完了に伴い、交付金の額の確定及び支出	3月	家畜法定伝染病予防対策助成事業1団体(受益農家24戸)、集乳運賃助成事業1団体(受益農家8戸)、遠距離家畜診療助成事業1団体(受益農家6戸)

7. 所属長評価 [平成20年度から改善した点、今後の展開など]

畜産農家の安定的な畜産経営に資するために引き続き支援する。

【参考】過年度の評価

■平成21年度の所属長評価

- ①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点
畜産農家の動向把握
- ②当該事業のアピール事項
家畜伝染病予防、安定的な畜産経営に資する
- ③反省点、今後の展開・方向性等
有益な事業として今後とも継続をする。